



秦莊中学校 学校通信

至誠

スローガン

「笑顔いっぱい、ともに学び、
ともに伸びる学校」

令和5年(2023年)

10月17日 第6号

発行者 久保田重幸

保護者・地域の皆さまへ

夢は人を育てる 人は夢を育てる

本校では、9月29日に、文化的行事として作品展示とジェリービーンズによるライブ&トークイベントを行いました。作品展示では、校舎内に、絵画、立体、書道、学習成果物等を展示し、同日に開いた参観授業を通して保護者の皆さんにもご覧頂きました。いずれの作品も一人ひとりの思いや願いがよく表現されており、表現活動の良さを改めて感じました。生徒の皆さんは、今後も、ものづくりの楽しさや達成感を味わいながら表現活動に励んで欲しいと思います。一方、ライブ&トークイベントでは、「夢」をテーマに、交流を深めました。まず、前半のライブでは、力強く、繊細な楽曲から、これからの生活や人生に対する前向きな気持ちをイメージできました。さらに、後半のトークイベントでは、生徒代表3名がメンバーの皆さんの半生についてインタビューし、自分たちの「今」と比較しながらお話を聞くことができました。以下に、生徒の感想の一部を記します。

○夢をかなえるヒケツは、声に出すことって聞いたから、自分の夢を声に出していこうって思った。/○今は夢がなくてもあとからいろんなことが出てくるし、自分の夢があったら、その夢を追いかけていくことが大切だと知りました。/○夢をもつだけで、他人に話すだけでも生きる活力や勇気がわくという事を感じた。/○自分にあてはめて聞くと、思わず泣いたし、つらい過去も人のために話して下さって、なれるかわからないけど、そんな人に私もなりたいです。/○夢は大きいものじゃなく、小さい、やってみたくても夢と言えると聞き、私も小さい夢をたくさん持っているなと思うことができました。/○JERRYBEANSさんのライブ・トークイベントなどを通して、すごく前向きになりました。今、叶えたい夢をもっていますが、夢に向かって頑張ろうと思います。/○夢って実感なくても、みんなにあるものだと聞き、それに気づけば、生きる目的になるということは、素晴らしいことだなと思いました。どんな境遇の人でも、人とつながれるんだと知り、もっと自分に自信が持てました。音楽の力で人の心に伝えることは、とてもすごいことだと思いました。心に響きました。人生がもっと楽しくなりそうです。/○生徒会のみんが学校のことを考えて活動してくれて感謝！もっとよりよい学校をみんなで作っていききたい。みんなと過ごした2時間も楽しかった。

上記の感想を読んでいると、多くの生徒がそれぞれ重要な気づきを得たようです。実は、今回、本校で「夢」をテーマにライブ&トークイベントを実施した理由の1つに、現代の子ども達が夢を抱きにくくなっている現状がありました。例えば、今年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」(文部科学省、中3対象)中の質問「将来の夢や目標を持っていますか？」では、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合(全国平均)は66.3%に止まり、コロナ禍前よりも低下しています。同質問を受けた本校生徒の平均も59.5%にとどまり、コロナの影響を懸念しています。「夢は人を育てる。人は夢を育てる」(文部科学省編「家庭教育手帳」2010年)という言葉もあります。「夢」が人の成長に果たす役割ははかりしれません。それだけに、生徒の皆さんは、今回のライブ&トークイベントで感じたことをこれからも大切にして欲しいと思います。

